ナース★アクション

vol.03
2023.4.7
全日本民医連

全ての看護職員の処遇改善と体制拡充に向け、今、声をあげましょう!!

Voice 医療費は無料に

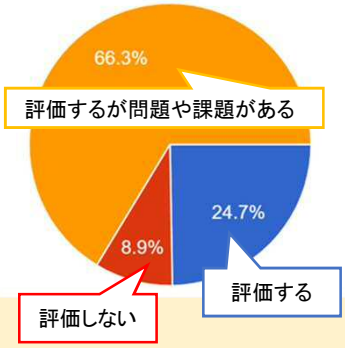
『国民のいのちと健康は、国が守るべきです。医療、看護、介護、教育、保育等は利潤を求めるものではなく無料にすべきだと思います。私達は、お金がないからこの患者さんを看護しないなんてありえません。看護師が増えても、給料があがっても経営がなりたつようにしてください。』〈大阪・看護部長〉

Voice 外来・在宅にも評価を

『昼休みを削って発熱外来をやり続けた看護師たちの疲労や疲弊はかなりのものです。かかりつけの患者を断わらざるを得なく、罪悪感や絶望感も感じながらコロナの3年間なんとか仕事をしてきました。それでも自分たちがやらなければという看護スタッフたちの使命感には脱帽です。身を削って対応してきた看護師への評価が低すぎると憤りを感じます。最前線は病院だけじゃない。感染対策可能な環境にない在宅の発熱者のすぐそばに駆けつける診療所の看護師も評価されるべきです。』〈神奈川・看護師長〉

75%超が問題がある・評価しないと回答

「看護師処遇改善評価料」を評価しますか？
n=671



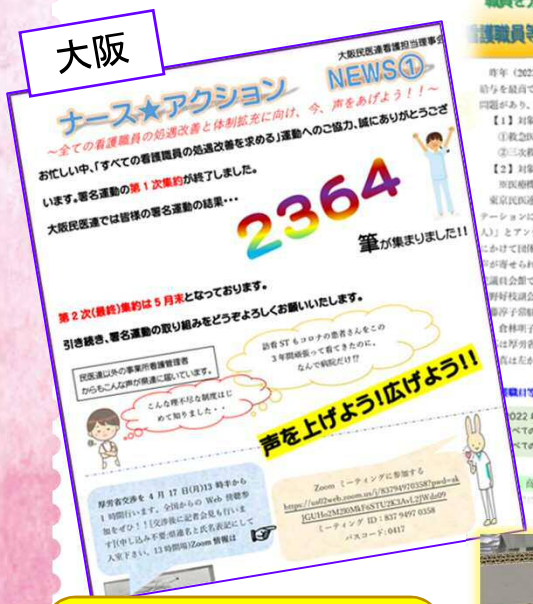
▼3月末で一次締め切った全国調査には、内外から多数のご協力をいただきました。この場をお借りして深く御礼を申し上げます。17日の厚労省交渉に向けて、集計・分析を進めます。
▼寄せられた声の一部を抜粋してご紹介させていただきます。

Voice 命を守る人員増を

『看護も介護も命を守る現場の職員が足りない。過酷な医療現場に疲弊して転職を考える職員が増えている。人材紹介会社に多額な紹介料を払い、人集めに奔走することが看護部長の本来の姿なのか。』〈看護部長〉

運動が拡がっています

大阪



東京

POP★11日発送
テープ止め等して
上手く使ってください

署名用紙ダウンロード先 ☞
https://kirarikango.com/news/news-3172/

【送付先】
全日本民主医療機関連合会　看護委員会宛
〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター7F

きらり看護

軍事大国ではなく、福祉大国へ